

～ All for one, One for all. ～



# 光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設  
東京光の家会報

— 209 号 —

2020 年 11 月 1 日 発行

そのとき、正しい者たちは答えて言うであろう、『主よ、いつ、わたしは、あなたが空腹であるのを見て食物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。いつあなたが旅人であるのを見て宿を貸し、裸なのを見て着せましたか』。

すると、王は答えて言うであろう、『あなたがたによく言っておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである』。

マタイによる福音書 第二十五章  
三十七～三十八節、四十節



～光バンド～2020 愛のサウンドフェスティバル ( KOTORIホール -昭島市民会館-)

## 巻頭言

日ごとに冷気加わり、深まる秋を実感いたしております。

さて今月は相澤理事の「人格について」という題で外部寄稿を掲載させて頂きました。

相澤理事の「神の前では盲人と健常者も何ら差別はない、人格的には全く対等である。」というお言葉はまさにSDGsの「不平等をなくそう」に通じ、共生社会の実現に向けて土台を成すと思います。

そして「人格の根源は正義と慈しみを一つにするキリストの愛」であるからこそキリストの愛に包まれた「光の家の利用者の笑顔が人格の輝きを放つ」ことができることがわかりました。

これからも光の家が人格を尊重し、神の栄光をあらわす施設として存続し続けることができるようにしていきたいと思っております。

(理事長 石渡 健太郎)

# 人格について

東京光の家 理事 相澤忠一



相澤理事ご夫妻

ら差別はない、人格的には全く  
対等である、という確信から生  
じていたに相違ない。

## 2

では、「人格」とは何を意味  
するのであろうか。「あの人は  
なかなかの人格者だ」などと  
言ったりするが、かつての私は、  
人格は人間に根差すものと考  
えていた。人と言う文字が中心  
をなす言葉であるから、そう  
考えるのも無理はない。ところ

秋元梅吉先生が、光の家  
創立五十周年記念会の挨拶で、  
二十六歳の折、聖書の福音に  
触れ、不平不満の塊であった自  
分は一変して、希望と喜びに溢  
れる人間になった、と述べられ  
たのは有名な話である。この喜  
びを仲間の盲人たちに伝えね  
ば、と思いついたとき、光の家  
の胎芽が先生の胸に萌したので  
あった。その喜びは、神の前に  
おいては、盲人も健常者もなん

葉でどのようなイメージを描い  
ていたのだろうか。私には、「御  
子のかたちに似る」とは、「人  
格において御子に似たものとな  
る」というように読めてなら  
ない。そう取って間違いないと  
思う。これまで、いまひとつピ  
ンとこないところのあった人格  
概念が、御子を見上げること  
によって、霧が晴れたように明  
らかとなった。すなわち、人格  
とは、悪はどこまでも赦すこと  
なく追求する正義と、すべて  
の咎をどこまでも赦して止まな  
い慈しみとの二つを、両立させ  
ることのできるいのちの属性で  
ある、と私は捉えた。正義と

が、「キリスト教の神は、自然  
を崇拜したり、偶像を拜んだ  
りする神とは違う。人格神な  
のだ」という言葉に接したとき、  
私の中で閃くものがあった。そ  
こへ追い討ちをかけるようにパ  
ウロの言葉が響いた。「神は私  
たちを」御子のかたちに似たも  
のとしようとして(後略)「ロー  
マ書八―29)。パウロは、その言

万人の罪の責任を取って罰を受  
けられたことで、神の正義は貫  
徹された。それは、取りも直  
さず、私たちが罪の責め苦か  
ら完全に解放されたことを意  
味する。私たちは、今やキリス  
トの慈しみの恩恵に浴している  
のである。正義と慈しみを一つ  
にする業をキリストの愛という  
人格の生まれる根源である。キ  
リストの愛を構成するのは慈し  
みの柱だけではない。それに對  
して、正義の柱が十の字に堅く  
結ばれた骨組みになっているこ  
とを銘記しなければならない。

## 3

光の家は、人格を尊重し、人  
格に敬意を払う施設である。キ  
リストの旗を掲げ、真っ直ぐに  
歩み続けて百年を閲した。今  
日、光の家の主客たる園生たち  
の表情に、笑顔が絶えることの  
ないのは、秋元先生の願いが実  
を結んでいるしではなから  
うか。私の目には、園生の笑顔  
は、人格の輝きとして映っている。



第43回

# チャリティーバザー

十月九日（金）利用者向け販売  
十月十一日（日）一般向け販売

会場：旧伊勢丹倉庫



バザー会場となった旧伊勢丹倉庫



検温・入場記帳もしっかりと！



広々としたバザー会場

新型コロナウイルスの猛威が続く中でありますが、実施形態を大幅に変更してバザーを開催しました。会場を旭が丘中央公園向かいの旧伊勢丹倉庫に移し、利用者向けと一般向けの販売を、二日間に分けて実施しました。また外部販売日には、会場

内への人数制限を始め、検温、消毒、記帳のお願いも行いました。様々な対策を講じての開催でしたが、外部の方々五百名以上にお越し頂き、三六〇万円以上のお売上げをあげることができました。ご協力ありがとうございました。



職員、利用者の代表による墓参の様子

## 田中先生夫妻を 偲ぶ会

令和二年九月十八日（金）



昨年に引き続き今年も、猛暑の季節が過ぎ、秋の気配が漂い始めた九月中旬に、東京光の家の墓参を行い、田中前理事長夫妻を始め、六十八名の故人を偲びました。職員、及び各施設の利用者が代表が参加し、厳か、かつ和やかに会が取り行われました。

## 軽部義和評議員 逝去される



東京光の家評議員の軽部義和先生が、天に召されました。

先生は平成二十二年より、東京光の家評議員に就任され、十年にわたり光の家を支えて下さいました。

最近では、今年の六月二十日に行われた東京光の家評議員会にご出席頂き、お元気そうなお姿を拝見していただけない、大変な驚きとともに、残念に思います。

心よりご冥福をお祈りいたします。





# 2020 愛のサウンドフェスティバル



TOKYO HIKARINOIE  
CONCERT 2020

# 光ひかりに歩むちかむ

2020.9.13 SUN

KOTORIホール [昭島市民会館]



光あれ

作詞・作曲 物井 洋介



負けないで







## 光バンド

### 「愛のサウンドフェスティバル」 実施のご報告

今年度の愛のサウンドフェスティバルは、サブタイトルを「光に歩む」と題し、KOTORIホール（昭島市民会館）にて開催いたしました。

新型コロナウイルスがまだまだ先行きが見えない中で、様々なウイルス感染防止対策を尽くしたなど様々な意味で、特別づくしの演奏会となりました。

会場は、今回初めての開催となるKOTORIホール（昭島市民会館）でした。コロナウイルス感染拡大対策として、観客同士の距離を保つため、席の半分ほどが利用不可となりました。

会場への入場に際しては、お客様全員に検温と消毒の実施、会場からの指導により全員の連絡先の登録が必要、対応する職員は全員、マスク、フェイスシールド、手袋を装着し、万全の体制をとった開催となりました。

演目では、日頃より東京光の家と懇意にさせて頂いている社会福祉法人聖愛学舎の物井理事長に、光バンドのために制作して頂いた新曲「光あれ」や、光の家就労ホームのダンスチームが参加した「パプリカ」をはじめ、六曲もの初披露曲があり、これまでにない楽曲編成をお楽しみ頂けたのではないのでしょうか。

会場には、開催地である昭島市の臼井市長をはじめ、日野市の大坪市長も駆けつけてくださり、お祝いの言葉を頂戴することができました。

今回は、演奏会の福祉協力券売上げの一部を、昭島市社会福祉協議会会長、伊藤徳彦様にお渡しさせて頂きました。

愛のサウンド講演会の皆様をはじめ、関係者の皆様のご多大なご協力のおかげで、コロナ禍の演奏会という難しいイベントを無事にかつ盛大に実施することができました。東京光の家職員一同、心より感謝申し上げます。



**新生園**

**光の家新生園 一泊旅行**

期間：一班 十月十九日(月)～二十日(火)  
 二班 十月二十八日(水)～二十九日(木)

行き先：福島 スパリゾートハワイアンズ

新型コロナウイルスの影響により今年度の旅行は、一泊二日で福島スパリゾートハワイアンズに行ってきました。コロナ対策として、今まで利用者全員で外出し、今まで利用者全員で外出し、二班体制に分けて外出することとしました。また、観光の為に様々な場所を訪れるのではなく、ホテル内に併設されているパーク内でプールやフラダンス体験、買い物、飲食、温泉を楽しめるように企画しました。移動も公共機関は使わず、貸し切りバスでゆとりを持って座れるようにバスの台数や座席を考えました。消毒や検温、マスクの着用も実施し、最大限の感染予防に努めた中で旅行でしたが、利用者の皆さんは、コロナ禍でも旅行ができることに感謝し、それぞれに楽しむことができました。



フラダンス体験、楽しかったです！

今までは違う新しい旅行の形ではありましたが、天候に左右されることもなく、普段の生活から離れて気分転換することができ、とても有意義なひと時であったように思います。帰りの車内では、「やっぱり二泊がいな」もっと遊びたかった、もつといろいろ食べたかった」との惜しむ声もありましたが、修学旅行等が中止となっている昨今、改めて実施できたことが何よりの朗報であったと思います。

**栄光園**

**光の家栄光園 日帰り旅行**

期間：十月二十二日(木)

行き先：山梨 ぶどう狩りとBBQ

去る十月二十二日、延期になっていた日帰り旅行へ行きました。旅行シーズンは夏が基本ですが、今年はコロナウイルスの影響もあり、秋の旅行となりました。秋晴れの中、山梨県勝沼でBBQとぶどう狩りを和気あいあいと楽しみました。お肉やぶどうを沢山食べ、食欲の秋を満喫したのち、ハーブ庭園へ向かいました。ブルーサルビアやチェリーセージなど様々なハーブが咲いており、優しい香りに包まれ、リラックスティ時間となりました。また、秋の代表花であるコスモスも咲き乱れており、秋を味わう事が出来ました。ハーブ庭園では、足湯も体験できたことも良かったと好評でした。



おいしそうなぶどう、とれました！

コロナウイルスの感染防止のため、プラズマクラスターエア

去る十月二十二日、延期にコンや除菌剤噴射機などが付いていた日帰り旅行へ行きました。旅行シーズンは夏が基本ですが、今年はコロナウイルスの影響もあり、秋の旅行となりました。秋晴れの中、山梨県勝沼でBBQとぶどう狩りを和気あいあいと楽しみました。お肉やぶどうを沢山食べ、食欲の秋を満喫したのち、ハーブ庭園へ向かいました。ブルーサルビアやチェリーセージなど様々なハーブが咲いており、優しい香りに包まれ、リラックスティ時間となりました。また、秋の代表花であるコスモスも咲き乱れており、秋を味わう事が出来ました。ハーブ庭園では、足湯も体験できたことも良かったと好評でした。

コロナウイルスの感染防止のため、プラズマクラスターエア

**神愛園**

**神愛園 一泊旅行**

期間：九月八日（火）～九月（水） エクシブ初島  
 九月十六日（水）～十七日（木） かんぼ青梅  
 九月二十四日（木）～二十五日（金） かんぼ青梅

行き先：エクシブ初島、かんぼの宿青梅

神愛園の一泊旅行は例年五月～七月に行っていました。今年にはコロナウイルスの影響もあり九月に延期して行われました。神愛園の一泊旅行は、かんぼ青梅と、エクシブ初島への宿泊でした。

エクシブ初島は、利用者三名、職員二名の他、理事長にも参加いただき、合計六名での旅行となりました。コロナの感染予防の為に出来るだけ少人数で、また行先もエクシブに絞ることで無理の無いスケジュールでゆつたりとした時間を過ごす事が出来ました。離島ならではの海鮮料理も堪能することが出来、園生さんからも「食事が美味しかった」との感想が多くあり、満足されたのではないかと思います。

かんぼの宿青梅も利用者の皆さんの体力や希望に合わせて例



エクシブ初島のガーデンにて

年通り小グループで二班に分けて行ってきました。旅行の時期が延びてしまいましたが、夕食は豪華な松茸づくし、という嬉しい出来事もありました。こちらでも宿でゆつたりとした時間を過ごして帰ってくるというプランでしたが、利用者の皆さんも体力的に無理なく旅行を楽しめた事は良かったのではないかと思います。

**就労ホーム**

**高尾の森わくわくビレッジに 行ってきました！**

期間：九月一日（火）／行き先：高尾の森わくわくビレッジ

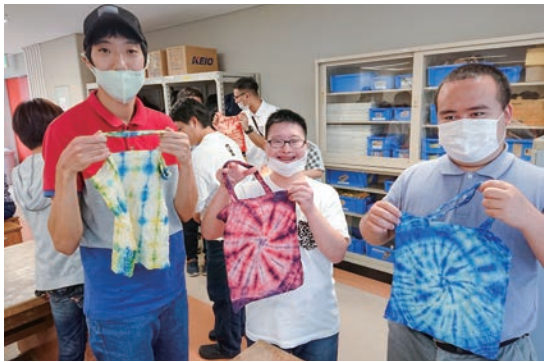
九月一日、コロナウイルス感染症防止のため延期になっていた、一日外出行事を行いました。場所は高尾の森わくわくビレッジ。レジ袋有料化のこの時期にタイムリーなエコバッグの絞り染め体験をしてきました。

無地のバッグに柄を染めるのですが、柄はスクウェアとトルネードの二種類、色は三色の中から一色か二色選べるとあり、どんな柄・色にするかで大盛り上がり！各々決めたデザインでエコバッグを縛っていくのですが、輪ゴムを何重にも巻いていく工程が難しく、先生に助けってもらいながら何とか縛りました。染料を染み込ませて、恐る恐る開いてみると・・・

「わーっ、すごいー！」「きれいー！」

各テーブルで歓声が上がります。

各テーブルで歓声が上がります。



絞り染め体験してきました！

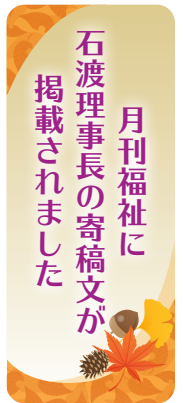




今年行われた障害者美術展にて、光の家新生園の石井正也さんの作品「車輪の模型」が入選を果たしました。新型コロナウイルスの影響で、写真での審査となった今年度。入賞は惜しくも逃しましたが、石井さんは乗り物の車輪を細部までイメージしながら、一生懸命に作り上げました。次回は、ぜひ最優秀賞に輝ける作品を作りたいとの事でした。



障害者美術展 入選



月刊福祉二〇二〇年十月号「SDGsは福祉に何をもちたらずのか」という特集ページに石渡理事長の「地域に向けた社会福祉法人の取り組み」SDGsを地域共生社会の実現と関連づけながら」と題した寄稿文が掲載されました。昨年度より行っている旭が丘中央公園地区センターの運営を通じた地域共生社会の実現に向けた取り組みの必要性と意義、そして昨今、地球規模の取り組みが加速しているSDGsが掲げる十七項目の中で、「住み続けられるまちづくりを」など多くの項目を意識した東京光の家の今後の課題と展望について力強く語られています。



## 同行援護従業者養成研修 受講生募集 (東京都指定研修)

～視覚障害者との歩き方・援助の仕方を学びませんか～

【研修期間】 2021年2月8日(月)～2月21日(日)

通信期間：2021年2月 8日(月)～2月21日(日)

通学期間：2021年2月20日(土)～2月21日(日)の2日間

【場 所】 東京光の家 地域交流センター 研修室他

【費用】 9,400円 【定員】 18名 ※定員になり次第メ切

【研修修了者】 同行援護従業者の認定資格を取得

【お問い合わせ】 東京光の家 TEL：042-581-2340



### 寄付者名簿

令和二年七月十五日( )

令和二年十月二十二日

宮洞 真様	梨	六十五個
氏家 憲治様	使い捨て手袋	一個
井川 幸雄様	梨	三十kg
船橋 敬様	すだち酢	四本
いなば食品株式会社	取締役社長	
稲葉 敦央様	ツナトッピング	九十六個
	コーン缶	十六個
島田 英樹様	梨	四十五個
綾木 潔様	梨	一〇四個
高瀬れい子様	ほししいたけ	二kg
渡辺 松江様	わかめ	二十袋
広瀬 美幸様	大根	六十七kg
佐藤しげ井様	枝豆	六kg
阿久津 隆様	柿	五十個

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。

発行 一九一〇〇六五

東京都日野市旭が丘一七ー一七  
社会福祉法人 東京光の家

電話 〇四二(五八二)二三四〇  
FAX 〇四二(五八二)九五六八